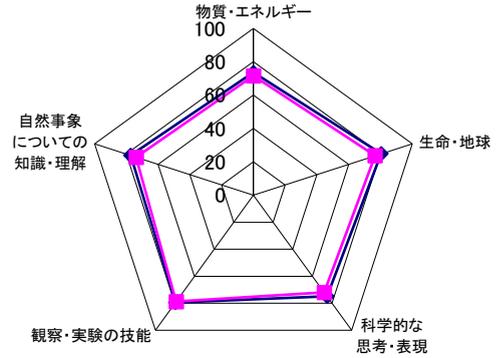


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	73.7	71.6	67.4
	生命・地球	80.4	76.6	75.5
観点別	科学的な思考・表現	75.0	72.1	68.8
	観察・実験の技能	79.5	78.7	76.3
	自然事象についての知識・理解	77.3	73.9	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



● 本校 ● 市

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○校内正答率は73.7%で、市の正答率を2.1ポイント上回った。</p> <p>●振り子の周期は振り子の長さによって決まることを説明する問題では、校内正答率が71.4%で、市の正答率を1.3ポイント下回った。</p> <p>●ミョウバンの水溶液の重さを求める問題では、校内正答率が71.4%で、市の正答率を3.9ポイント下回った。</p>	<p>実験の際に、児童一人一人に予想をさせ、どのように予想をするのかを考えさせることで、思考の過程を大切にしていくようにする。また、結果からどんなことが言えるのかを考える場や考察する活動を行い、科学的な思考力を高めるようにしていく。実験のめあてや目的を意識し、科学的な思考をより深めるために、実験の方法や結果について話し合う活動に、重点的に取り組ませるようにする。また、そのような練習問題をできるだけ多く解くことで、習熟を図るようにする。</p>
生命・地球	<p>○校内正答率は80.4%で、市の正答率を3.8ポイント上回った。</p> <p>●生き物どうしの「食べる」、「食べられる」の関係の問題では、校内正答率が68.3%で、市の正答率を5.4ポイント下回った。</p>	<p>授業の中で、目的をしっかりとって実験や観察に取り組むようにしていく。児童一人一人の思考の過程が分かるような記録の取り方についても工夫が必要であるため、ノートの記事の仕方について随時指導・助言をしていくようにする。また、繰り返し復習することで、知識を確実に習得できるようにする。</p>